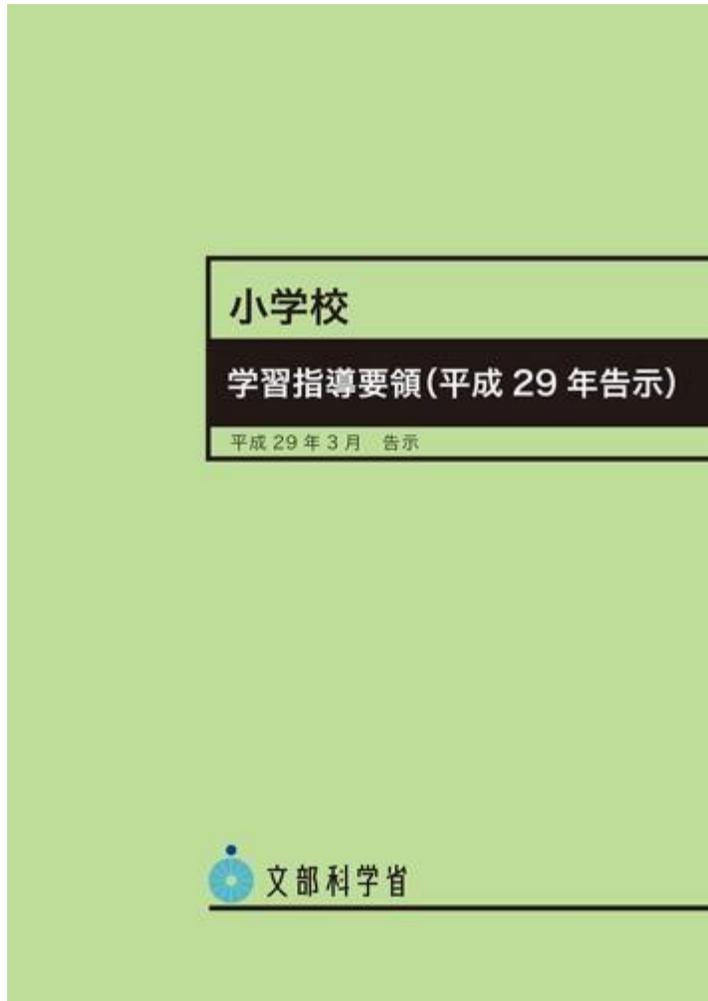


カリキュラム・マネジメントを通じた「深い学び」の実現

～算数科と体育科の教科横断的な学習を例に～

白土 明夫

研究の背景



- 今年度から新学習指導要領が実施
(教育課程を編成する際の基準)
- 「コンテンツ」から「コンピテンシー」へ
(教科を教えるではなく、資質・能力を育成する)
- 教科横断的な視点での学習の組み立て
「カリキュラム・マネジメント」

研究の目的・方法

- 教科横断的な視点のある授業デザインの提案
- 各教科の学びを合わせたクロスカリキュラム（体育・算数）の実施
- 教科で学んだことを活用して、【情報活用能力、問題発見・解決能力】など学習の基盤となる資質・能力の育成をねらいとする

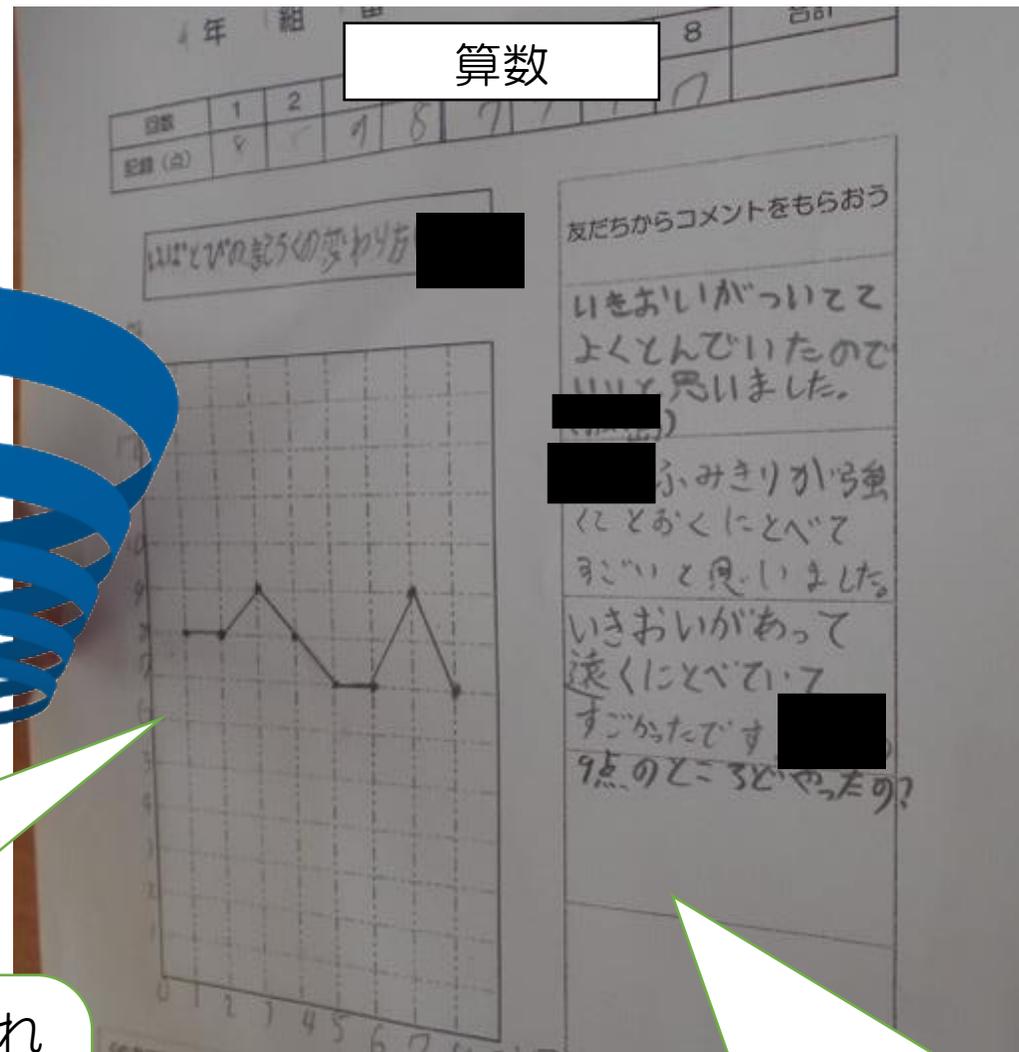
体育



どこまで跳んだか、着地した色のテープで点数を判別
(一人8回跳ぶ)

- 授業の前半では、教科書を参考にした内容で授業を展開（折れ線グラフのかき方、特徴）
- 後半は前半で学んだ知識や技能を生かして、自分の体育の幅跳びの記録を折れ線グラフに表す

算数



記入した折れ線グラフをチームの友達と見合っ、コメントをもらう。
自分のよさや課題を確認し次の体育の学びに生かす

児童の反応

- 教科に対する見方が変わった
→（算数が嫌い→好き、体育が嫌い→好き）
- 学びの関連づけによるメリットの発見
→合体したことでより集中できた、これからの学習に生かせそう
- 教科書を使わないよさ（学びの広がり）

※学習に対する姿勢（意欲の向上）

まとめ

教科横断的の視点で授業を組み立てることで・・・

- 学習の基盤である情報活用能力、問題発見・解決能力の育成が期待できる



豊かな人生の実現、予測困難な時代を生き抜く
「生きる力」につながる

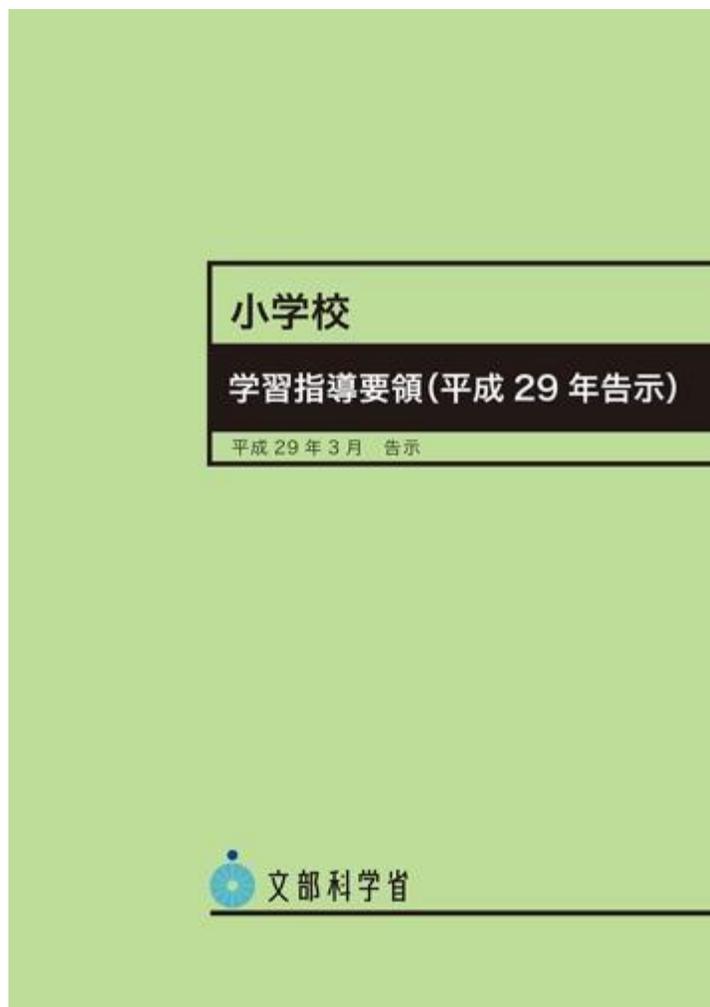
如何在课程管理中实现“深度教学”

～以数学和体育课的跨学科学习活动为例～

创价大学教职研究生院硕士3年

白土 明夫

研究背景



- 今年正式实施新课标
(编排教育课程的标准)
- 由“教育内容”的追求开始转变到“教育质量”的追求
(不是让学生理解掌握学科内容而是让学生掌握哪些资质和能力)
- 从学科横向的视点组织教学
“课程管理”

研究目的和方法

- 学科横向的视点（跨学科的视点）组课
- 把各学科所学的综合在一起编排的课程（体育·数学）
- 培养学生运用各学科所学的东西【**信息使用能力**、**问题发现·解决能力**】等基础资质和能力

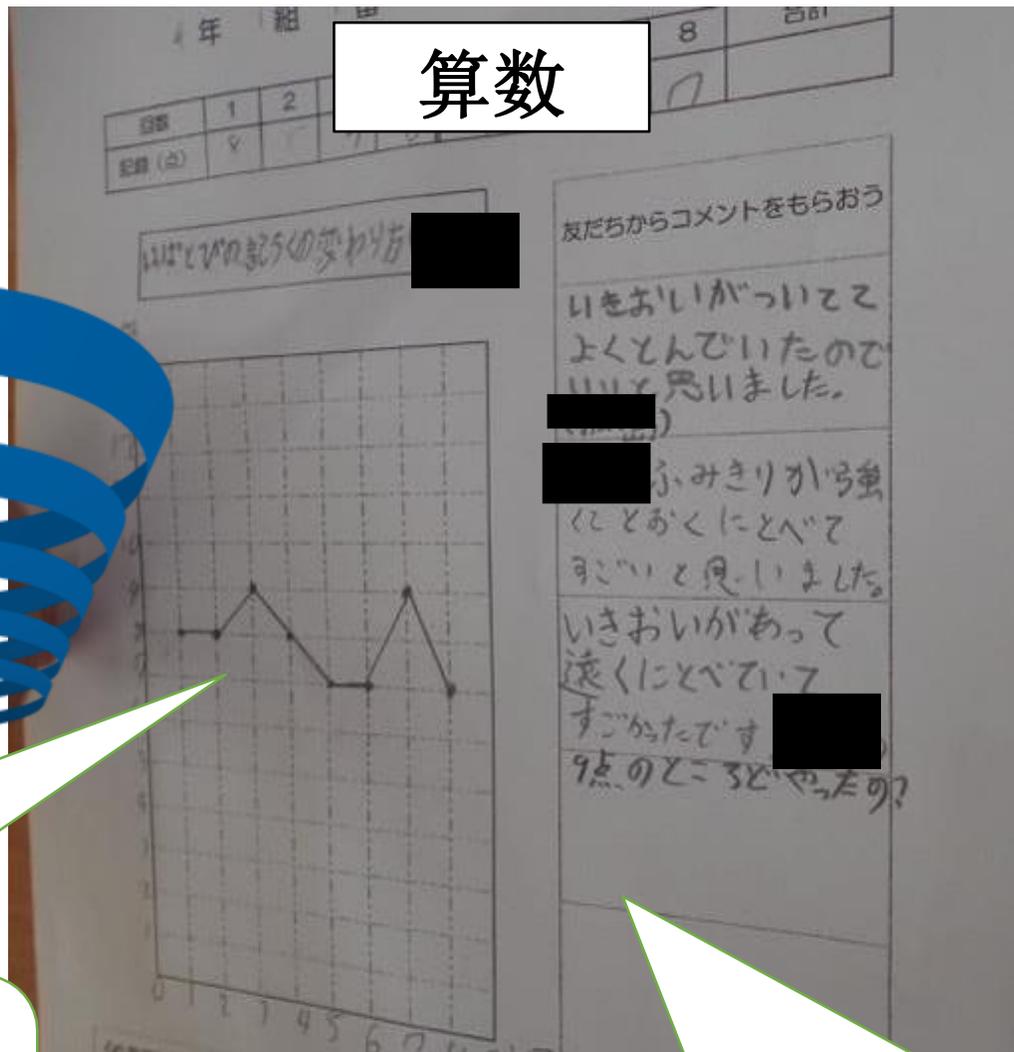
体育



所跳的位置用颜色胶带粘好看得分
(每人跳8回)

- 课的前半部分利用书本的内容拓展学习活动内容(折射曲线图及它的写作方法、特征)
- 课的后半部分是运用前半部分所学的知识技能,记录自己体育课上跳远记录并用曲线表示。

算数



同学之间互相学习彼此的记录、提意见等。彼此找到自己的优缺点,运用到下节课的学习。

学生的反应

- 对学科的认识发生变化
→（讨厌数学→喜欢、讨厌体育→爱好）
 - 体会到所学知识相关联的益处
→各学科的综合调动了学生的注意力，有意识地运用到今后的学习上
 - 体会到书本以外的学习的乐趣（扩展了学的空间）
- ※ 学习姿态的改变（提高自己的学习兴趣）

总结

利用横向跨学科的视点组织课堂 . . .

- 能巩固和提高学生的**灵活应用信息能力，问题的发现能力及问题的解决能力等**の学习基础能力



实现自己丰富的人生，预测困难并超越时代的生存能力